

# 活動紹介

## 1. 防災イベント

名称：やさしいにほんごで地震（じしん）体験（たいけん）

主催：にほんごでおしゃべり！プロジェクトチーム

共催：一般財団法人つくば市国際交流協会

後援：つくば市 つくば市教育委員会

目的：つくば市内の外国につながる子育て中の家族及び留学生に対し、体験型イベントを通して、平常時にできる防災と地震発生時の適切な行動を知る機会を提供する。

概要：外国につながる子育て中の家族と留学生を主な対象に、やさしい日本語を用いて、起震車での地震体験、平常時の防災と地震発生時の適切な行動を学べるワークショップを行う（防災かるた、ロープワーク、防災バッグの説明、ビデオ上映とクイズ）。

講師：防災士 水谷浩子氏

日時：令和4年12月3日（土）13:00～15:00

場所：筑波大学グローバルヴィレッジ大和リースコミュニティステーション2階及び屋外

内容：参加者は、各ブースを体験して回り、途中、掲示された4つのクイズに回答する（回答は用紙に記入）。お帰りの際には、その用紙と引き換えに記念品をお渡した。記念品は、オリジナルで作成した「防災マップ」と、つくば市国際交流協会様よりご提供いただいたエコバッグや、つくば市危機管理課様よりご提供いただいた災害用携帯トイレなど。



### 【起震車】

防災コミュニティネットワーク様に依頼。  
1組1～4名乗車。1回当たり約3分。



### 【ロープワーク】

もやいむすび、ほんむすび、巻き結びを作り、できたものをコルク板に貼ってお土産とした。



### 【防災かるた】

やさしい日本語で作成された防災かるた。スタッフが読み手となり、防災士による補足説明。



### 【防災バッグの説明】

防災バッグとその中身を見本として並べ、説明カードを付けた。防災士による補足説明。



ハザードマップで自宅の位置を確認。

### 【ビデオ上映とクイズ】

昨年度の防災講座を編集したビデオを上映。



補足：

- 参加者数（延数）81名
- 令和4年度筑波大学社会貢献プロジェクト
- つくば市危機管理課及び国際都市推進課との連携

- 一般社団法人減災サステナブル技術協会「2023防災・減災×サステナブル大賞」  
防災・減災×SDGs賞 アカデミー&ジュニアアカデミー部門 コミュニティ賞 受賞  
多国籍子育て支援「にほんごでおしゃべり!」を通した防災学習指導(共同)として、  
一般財団法人つくば市国際交流協会と共同表彰



- つくば市国際交流協会様にご共催いただき、2年連続、防災をテーマにイベントを開催しました。  
防災士である当団体のスタッフを中心に、外国籍の方々に必要でわかりやすい内容となるよう、何度も検討を重ね、企画しました。資料や説明には、やさしい日本語、ルビ、英訳をつけ、誰もが理解できるように努め、誰一人取り残すことのないよう取り組みました。参加者からは、「防災に役に立つ」というフィードバックが得られ、半数以上が、やさしい日本語での次回防災講座を希望していました。

## 2. 普段の活動（おしゃべり会）

妊娠中・子育て中の母親や父親、子どもたちを対象に、月2回1時間程度、やさしい日本語を共通言語としたZoomミーティング、対面交流「にほんごでおしゃべり！」を開催しています。

内容は、親同士の交流、子育ての悩みや日常の気になることの共有、季節やイベント、参加者のニーズを踏まえたレクリエーションやミニ講座など。女性の美や健康、母国の出産育児事情、言語や料理の紹介などを通して、文化交流も行っています。また、保育所入所の手続き、公園などの公的施設、買い物に行く店など、ママ同士の情報交換の場にもなっています。子ども向けの手遊び歌の動画をオリジナルで作成し、動画は、参加者が自由に使えるよう、YouTubeにも掲載しています。参加者ママによる母国の文化紹介など、利用者と支援者を区別せず、参加者皆が作っていく会を目指しています。

運営には、子育て支援経験者、筑波大学の学生・留学生、助産師、日本語教師、防災士、美容の専門家、子育て経験者など、様々な業種のメンバーが携わっています。

安心して自由に参加できる場所作りと、必要な情報を入手するための手助けを目的とし、日本語会話を練習する場も担っていきたいと考えています。日本語教師や英語対応のできる支援者が入り、参加者の日本語能力に配慮した企画と進行を心がけています。今後も、おしゃべり会、日本語教室、各種ミニ講座など、オンラインと対面のハイブリットで親子が楽しめるイベントを実施していく予定です。

### 活動報告



5/24

やさしい日本語でフリートーク！

### 活動報告



7/12

あなたの国のことばを  
教えてください